

あらたな戦前にさせない! 守ろう平和といのちとくらし2023憲法大集会



5月3日、平和といのちと人権を!5・3 憲法集会実行委員会主催の「あらたな戦前にさせない!守ろう平和といのちとくらし2023憲法大集会」が、東京・有明防災公園で開催されました。当日は2万5千名が結集し、JR総連からは170名が参加しました。

主催者を代表し、総がかり行動実行委員会の高田健共同代表は「岸田政権は専守防衛を放棄し、敵基地攻撃能力保有など戦争の準備をしている。任期中に改憲すると言っているが、絶対に止めなければならぬ」と述べ、運動の強化を呼びかけました。その後、室蘭工業大学の清末愛砂教授(憲法学)は、安保関連3文書について「憲法を無視し、解釈改憲で大軍拡の道を開いた。『新たな戦前』を避けるため、つながりの輪を広げよう」と呼びかけました。続いて、立憲民主党の西村智奈美代表代行は、改憲派が主張する緊急事態条項の創設について「政府の権限が集中するよう改憲は不要だ」と訴えました。次に新潟市民連合の佐々木寛共同代表より「『新たな戦前』を止めるために、つながりながら、よりよい社会を求めていこう」と連帯のあいさつがあり、その後のリレートークでは、入管法問題について、馬毛島の軍事基地問題について、性差別問題について、それぞれ代表者から報告と訴えが行われました。

集会後のパレードでは、「#改憲 大軍拡 NO!」「敵基地攻撃能力いらない」などのプラカードを掲げ、戦争反対!改憲反対!敵基地攻撃能力いらない!などと力強く声を上げ、市民に対して憲法改悪の危機を訴えると共に、憲法9条を守り広めることの大切さを訴えてきました。

ロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射などを口実に、憲法改悪の動きがより加速しています。この平和の危機を受け止め、76年間守り抜いてきた平和憲法9条の大切さを、職場と地域から広めていきましょう。

2023JR総連春闘 加盟8単組交渉集約にあたっての見解

JR総連は4月28日、加盟8単組の春闘交渉が集約したことを受けて、見解を発出しました。
2023JR総連春闘を、たたかい抜いていただいた加盟各単組のみなさんに感謝を申し上げますと共に、今次2023JR総連春闘の成果と教訓を、第39回定期大会で確認しようではありませんか！

2023JR総連春闘 加盟8単組交渉集約にあたっての見解

2023JR総連春闘は、4月28日をもって加盟8単組すべての交渉を集約しました。今春闘は、物価の高騰による実質賃金の低下、長引く賃金抑制、新型コロナウイルスから回復傾向であるものの依然として交通・運輸産業が厳しい経営環境にあるなかでのたたかいです。

JR総連は21春闘、22春闘の総括に踏まえ、加盟8単組と議論を重ね、物価上昇と組合員の生活実態に基づくとともに、職場の声を要求に高める運動づくりの強化に向けて、2つのスローガンを掲げ2023JR総連春闘のたたかいの意義を確認し、加盟各単組は「ベア10,000円（物価上昇・生活向上分を含む）」の一律定額要求にこだわり、統一要求・統一闘争で「2023JR総連春闘」をたたかい抜いてきました。

JR北海道労組は、2年連続でベアを引き出し、昨年を上回るベア一律1,000円を獲得し、JR東労組は、「所定昇給額の1/4+4,000円」の回答を受けるもJR総連春闘の要求額から乖離していることから妥結できないとして、6300件を超える組合員・社員の声を集約し、再申し入れを行い、統一要求・統一闘争にこだわってたたかい抜いてきました。JR東海労においてもベア1,000円の回答は到底妥結できないとして、再申し入れを行い、併せてJR東海会社が公表したベア「7,200円」のまやかしについて会社へ抗議し修正を求めてきました。JR西労においては、ベア3,000円の回答に対し再申し入れし、JR連合の低額相場づくりを批判してきました。また、本社前でスタンディング抗議行動を行う等の創意工夫した取り組みにより、春闘のただ中で組織拡大を実現してきました。JR貨物労組においては、2年連続でベアを引き出し、昨年を上回るベア平均1,000円（700円+0.1%）を獲得してきました。

5連協においては、システム労がJRSE分会へ波及効果を生み出すために、粘り強く交渉を行い一律ベア5,000円を獲得しました。鉄研労はベア1,000円を獲得し、さらに今までにない交渉と議論を重ねてきたことで、運動の前進と組織強化をかちとりました。聚楽労組は、昨年に引き続き有額回答を引き出し、過去最高額である3,200円の賃金改善を獲得しました。

2023JR総連春闘は、要求満額獲得を実現できなかったものの各単組が従来にも増して粘り強い交渉を行うなど統一要求・統一闘争の力をいかに発揮したことで組織の強化をかちとることができました。今後はさらに総括を深度化させて2024JR総連春闘のたたかいを構築していきます。

しかし、今春闘においては、経団連からの相次ぐ賃上げ要請に応じ、業績が好調な企業の要求満額回答提示に対して、たたかいの山場を前にJR内を含め労働側の早期妥結があり、統一闘争が破壊されたこと、それに対する連合の指導性の発揮など、労働者の力を一つに結集し要求を実現するには多くの課題が露呈しました。一方、JR連合は連合要求3%を下回るベア1%3,000円要求という低額相場を形成し、たたかう前から経営側に与する「春討」をつくりだしました。

JR総連は今春闘で明らかになった諸課題の克服に向けて連帯・共闘の輪をさらに強化していきます。

労連の仲間やグループ会社の仲間の春闘はこれからも続きます。JR総連は、連帯・共闘の精神で最後までたたかい抜いていきます。

日本は、安保関連3文書の改定によって、戦争体制強化に向けて突き進んでいます。軍備増強のための増税、高齢者の医療費負担増をはじめとした社会保障の切り下げなど、私たちの暮らしは厳しさを増すばかりです。JR総連は、組合員と家族のいのちと暮らしを守るために、憲法9条を守り抜き、一切の戦争政策に反対し続けていきます。

最後に、2023JR総連春闘をJR総連の旗のもとにたたかい抜いていただいた加盟各単組のみなさんに感謝申し上げます。

2023年4月28日

JR総連執行委員会

「第20回統一地方選挙」の結果について

統一地方選挙推薦候補者

130名当選!!

4月23日(日)に投票がおこなわれた「第20回統一地方選挙」後半戦は、JR総連推薦候補者48名中39名が当選を果たし、前半戦と合わせて152名中130名が当選を果たしました!

JR総連は政策の実現にむけて、引き続きJR総連議員団会議連絡会所属議員をはじめ、推薦候補者のみなさまと連携して取り組みを進めてまいります!

メーデーの歴史に学ぶ「8時間労働の原点」!



今年のメーデーに結集した組合員

連合「第94回メーデー中央大会」が4月29日、東京・代々木公園で4年ぶりに参加者数制限がない形で開催され、JR総連は在京単組から70名を超える組合員と共に参加してきました。また、全国各地で開催されたメーデーにも、多くの組合員が参加しました。

メーデーの起源は?

メーデーは英語で「May Day」と書くように、5月1日を指しています。世界各国の労働者がこの日を祝い、集いやデモをおこなっています。

その起源は、137年前の出来事に由来します。当時の米国では、労働者は週70時間、一日12時間を超える労働が当たり前におこなわれ、成人だけではなく児童までもが過酷な労働に従事していました。そこで「8時間労働制」を求めるゼネラルストライキが1886年5月1日、シカゴを中心に米国の主要都市で闘われ、全米で30万人の労働者が参加しました。労働者は「8時間は仕事に、8時間は休息に、8時間はやりたいことのために」と訴え、多くの労働者が時短を勝ち取りました。なお、日本最初のメーデーは1920年5月2日、東京・上野公園でおこなわれ、5,000名を超える労働者が参加したと言われています。

今、労働組合に求められること

現在、日本の労働組合組織率は、16・5%（厚労省発表最新値）まで低下しています。今回、組合員の率直な質問で「メーデー」の歴史にあらためて触れる機会となりましたが、日本の約8割にあたる労働者は、労働組合に未加入です。つまり8時間労働の原点であるメーデーへの参加や起源に触れる機会も皆無に等しく、労働者の団結（労働組合）があるからこそ春闘での賃金引上げをはじめ、労働条件の改善、労働環境の整備、パワハラやセクハラ等、労働者の不利益に対して団体交渉権を持ち、会社と対等に交渉することができている労働組合の存在意義を知りません。多くの場合、泣き寝入りしていることが想定されます。

その意味では、連合をはじめとして労働組合への組織化は課題であり、私たちJR総連においても、JRグループに働く未組織労働者の加入が課題です。4月1日には、今年も多くの新入社員が入りました。JR総連に結集する加盟単組・労連加盟単組への加入促進は勿論のこと、労働組合の役割とは何か、次世代を担う仲間へ伝承していくことも重要な組合活動と言えます。

今後、各単組・労連においては、新入組合員歓迎会やユニオンスクールなど、創意工夫した取り組みが開催されると思います。労働組合と一緒にたたかうからこそ一人では解決できない問題も解決できる労働組合の必要性をあらためて確認することが重要です。



日本最初のメーデー（1920年上野公園）

組合員と家族による5連協「春の運動会」開催！

JR総連は4月22日、「組合員と家族による『5連協・春の運動会』」を立川市にある国営昭和記念公園にて開催しました。

当日は、5連協の組合員・家族58名が参加し、子どもたちによる徒競走、大玉転がしリレーや玉入れの他、単組対抗世代別リレーなど、総合優勝をめざして、大いに盛り上がりました。各競技とも笑顔が絶えず、子どもたちの歓声が響きわたり、5連協の絆はさらに深まる運動会となりました。また、衆議院議員・末松義規氏（JR総連推薦議員懇談会共同代表）にもご来賓として駆けつけていただき、ご挨拶をいただきました。

総合優勝は「鉄研労チーム」、準優勝は「聚楽労組チーム」、3位「システム労チーム」、4位「JR総連チーム」となりました。

運動会終了後は、晴天の下でバーベキュー大交流会をおこない、さらなる親睦を深めてきました。



子どもたちが大活躍！大玉転がし



大人も玉入れに苦戦



玉を落とさないように、巨大スプーンリレー

ろうきん

はたらくあなたの、
いちばんそばに。

コンビニなどの提携ATMの
引出し手数料 **実質 0円**

ろうきんのキャッシュカードでお引出しができる場所はコチラ

「もしも」に備え「もしも」を防ぎ
「もしも」に向き合う。

公式キャラクター
ピットくん

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

たすけあいの輪をむすぶ
こくみん共済〈全労済〉
全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

あなたと家族に安心届けます。保険はおまかせください。

各種のお問い合わせは、
パソコン・スマホ、から
可能ですので、ご利用を
お待ちしております。

《取扱商品》

- ▲ 自動車保険・火災保険
サークル保険
- ▲ がん保険・医療保険・介護保険
給与サポート保険
- ▲ JR積立年金
- ▲ すみっこ商店・伊東さつき会館

JR総連・各単組賛助団体
(株)鉄道ファミリー

〒141-0031
東京都品川区西五反田3-2-13 目黒さつきビル
TEL 03-3490-3862 FAX 03-3491-7198

検索